

## 身体などの障害の悩みに相談員が応えます

【問】市福祉課障害者福祉係 (☎ 77・8514)



委託書の交付を受けた12人の相談員の皆さん

お気軽にご相談ください。なお、身体障害者相談員は、受け持ちの地区が決まっています。お住まいの地区の相談員にご相談ください。相談員の名前と電話番号は次のとおりです。

### ■身体障害者相談員

▷柳川地区担当=伊藤秋光 (☎ 73・0349)、武田利昭 (☎ 72・9348)、辻武敏 (☎ 73・7369)、松藤正倫 (☎ 73・1037) ▷大和地区担当=古賀小菊 (☎ 76・2412)、田中瀧雄 (☎ 76・2930)、本村数仁 (☎ 73・6531) ▷三橋地区担当=荒木巧 (☎ 72・7516)、石橋英敏 (☎ 73・5370)、黒田靖昭 (☎ 63・4183)

### ■知的障害者相談員

近藤早百合 (☎ 73・5151)、堀江悦子 (☎ 73・4073)

市は、身体の障害や知的な障害がある人と、その家族が抱える悩みに応えるため、身体障害者相談員10人と知的障害者相談員2人を置いています。

相談員制度は、これまで県の事業として行われてきました。今年4月から、国が進める地方分権の流れに乗り、よりきめの細かい相談体制を充実させるため、市が事業を行うことになりました。

5月18日には市役所で12人の相談員に委託書が渡されました。委託された相談員は、本人や家族に障害がある人、障害者の社会活動に携わる人たちです。自らの経験や情報を生かして、相談者が抱える不安や悩みに、当事者の気持ちになって親身に接します。どうぞ、

## 障害者のための何でも相談会

障害に関わる、さまざまな相談に親切丁寧に対応します。市内の身体障害者手帳や療育手帳を持っている人と、その家族が対象です。相談料は無料です。

●相談日 ▷第2土曜日=水の郷▷第3土曜日=まほろばやまと▷第4土曜日=サンブリッジ (相談時間はいずれも午後1時30分～4時)

問い合わせは、荒木さん (090・3328・8041) まで。

## 7月は同和問題啓発強調月間です

【問】市人権・同和对策室 (☎ 77・8532)

7月は同和問題啓発強調月間です。県と市は同和問題の早期解決を目指して、昭和56年度から毎年7月を「同和問題啓発強調月間」と定め、さまざまな啓発行事を行ってきました。しかし現在も差別事件が後を絶ちません。このため本年度も、市では次の取り組みを行います。

### ●街頭啓発

市長を始め市議会議員、教育長、市民団体の代表などおよそ30人が、市内の駅やスーパーマーケットで、差別のない明るいまちづくりを呼びかけます。

日時 7月2日(月)、午前7時20分ごろから西鉄柳川駅など市内6か所、午後3時50分ごろから市内の

スーパーマーケットなど4か所

### ●市人権・同和教育夏期講座

日時 7月7日(土)、午後2時開演

会場 三橋公民館大ホール  
内容 ベル・カント ソプラノ歌手の渡辺千賀子さん(写真)による「おはなしコンサート」

問い合わせは、市人権・同和教育推進室 (☎ 77・8842) まで。



## 今年もやります うまかもんづくりぐっちょ

【問】市柳川ブランド推進室 (☎ 77・8722)

柳川産の農水産物を使って、新しい柳川名物を作る市ブランド推進協議会の取り組み、「うまかもんづくりぐっちょ3」の参加者説明会が5月25日、市役所大和庁舎の会議室で行われました。説明会には、参加を予定している菓子店や総業店など12の事業者が出席。来年2月から始まるキャンペーンでの販売を目指し、商品の開発を進めます。

3回目を迎える、うまかもんづくりぐっちょ。「新たな食文化を築く」がコンセプトです。それと併せて、市内で生産される素材を材料として使うことで、素材の産地としての柳川をPRするとともに、商品を作った事業所をPRして地域経済を活発にするという目的もあります。



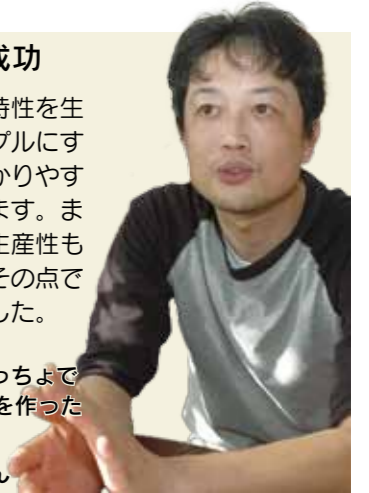
昨年を上回る12事業者が出席した参加者説明会

### シンプルにして成功

きなこラスクは素材の特性を生かし、味、製法ともシンプルにすることを考えました。わかりやすい味が受けたのだと思います。また商品として売る以上は生産性も考える必要があります。その点でもシンプルにして成功でした。

昨年のうまかもんづくりぐっちょで人気第1位のきなこラスクを作ったパン工房「麦麦」

代表 松本宗晴さん



今回、素材に選んだのは、あまおう(イチゴ)とナス、赤貝(サルボウ)の3種類です。参加事業者は3種類の素材の中から一つ以上を選択。同協議会から提供された素材を使い試作品を作ります。素材の使い方は自由で、それぞれの事業者の創意と工夫に任されています。作られた商品は、10月末の試作品の発表会で同協議会のメンバーや消費者モニターの試食会を経て商品化。来年2月のさげもんめぐりに合わせてキャンペーンを行い、それぞれの事業所で販売される予定です。

同協議会事務局の市柳川ブランド推進室では、今回のうまかもんづくりぐっちょに参加する事業所を引き続き受け付けています。詳しいことは同室にお尋ねください。

## YOKAVANMOU

トピックス

### よかばんも～おいでん会が団体化

トマトやサツマイモの収穫体験などを通じて、農業の観光化に取り組んでいる「よかばんも～おいでん会」が団体として再出発しました。同会には、平成22年度と23年度に開いた「体験ツアー受け入れ講座」の受講生のうち9人が参加。設立総会は5月15日に三橋公民館であり、役員選出や今年度の事業計画を決定。初代会長に選ばれた田中良一さん(徳益)は「生産の現場を消費者に知ってもらい生産者との距離を縮め、収穫の喜びと苦勞を分かち合いたい」と抱負を語りました。

### おいでメッセ柳川 30人限定の涼菓子試食

柳川の名品や特産品を販売している、ブランドショップ「おいでメッセ柳川」で6月17日(日)から、水まんじゅうや水ようかん、くずきりなどの涼菓子の販売を始めます。これを記念して、当日の開店から先着30人限定で、涼菓子の試食をしていただきます。柳川の菓子職人が手掛ける伝統の味をご堪能ください。



【問】おいでメッセ柳川 (☎ 72・9510)